

わんにゃん新聞



文責：古賀

皆さん、こんにちは！
すっかり秋になりましたね。
地震や大雨などの自然災害が過ぎてしまうと忘れがちな防災対策
今回のテーマは『再確認・ペットの防災』です

いざという時の為に!! 備えあれば憂いなし!

大切なペットを守れるのは飼い主さんしかいません。
いつ起きるか分からないので防災対策しておくことが大切です。

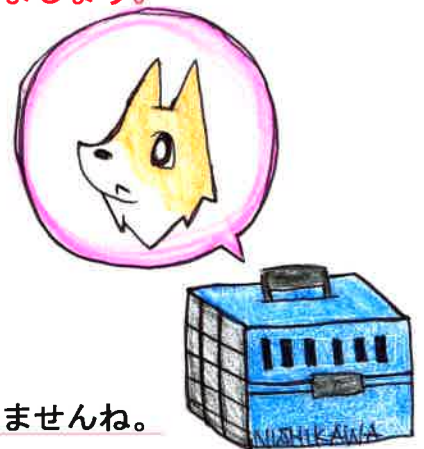
〈備えておきたいもの〉

最低 1 週間以上のフードとお水

災害時には、人間用の食事でも滞りがちになります。
そんな中、ペット用の食事の確保は難しいので必ず準備しておきましょう。
1日にどれくらい必要かを調べた上で、**食べ慣れていて、**
保存のきくペットフードと飲水を簡易食器とともに準備しておきましょう。
食事が変わって嘔吐下痢をしてしまう場合もありますので
普段から食べならしておきましょう。

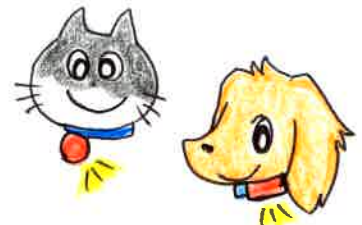
移送用具(ハードキャリー又はキャリーバックなど)

避難所生活や移送する際に必要です。
安全に移送できる用具を1匹につき1つ準備しておきましょう。
避難所ではその中で生活をしなければならいかもしれません。
そのために**普段から慣らせておくように**しましょう。
いつも使っている毛布やタオルなどあれば少し安心するかもしれませんね。



迷子札や狂犬病の鑑札・済票・マイクロチップ

鑑札・済票は迷子札変わりにもなりますので、首輪に付けておきましょう。
万が一どこかで迷子になってしまい、保護されたら
鑑札や済票の番号でどこの誰のわんちゃんか、すぐ分かります。
離れ離れになってもすぐに見つかるように
飼い主さんの連絡先を記入しておきましょう。
犬・猫以外の小動物は名札を付けられないので、
日頃使用しているケージ等に飼い主名と連絡先を記入しておきましょう。



首輪やリード

他のわんちゃん達も集まってくる場合もありますので必需品です。

西川動物病院 0940-43-0200

裏面へ

常備薬と緊急用具

災害の時はガラスを踏んだり、倒れてきた塀やタンス等にぶつかったりしてペットも怪我をしてしまう可能性があります。

ペットの怪我に備えて、消毒薬やガーゼ、包帯など

応急処置ができるくらいのペット用緊急用品を準備しておきましょう。

持病のあるペットは常備薬を用意しておくことも忘れずに。



その他

排泄物を入れるビニール袋やスコップ、消臭スプレーなど避難所を汚さないためのペットシートなどがあると便利です。

また、オムツを利用するのも良いでしょう。

古新聞やトイレットペーパー、ペーパータオル、ゴミ袋や飼い主の匂いの付いている古着などバスタオルなども必要です。汚れたり濡れたりした時や防寒にも役立ちます。

《日頃からの準備》

ワクチンの予防接種……1匹が病気をもっているとあっという間に感染が広まってしまうし、災害時は不衛生な環境で病気にかかりやすくなります。

ノミ・ダニ予防……避難所や保護された場合、感染症と同様あっという間に広まってしまう。避難している方にまで迷惑をかけない様に予防しておきましょう。

飼育環境のチェック……飼っている周りに落下物や倒れてくるものが無いか、またガラスが割れて落ちてこないかなどチェックしてみてください。

塚崎トレーナーのしつけのいろは

《第15回：叱りかた》

文責：塚崎

犬のしつけは『ほめる』を中心としておこなっていくことが基本です。

ですが、叱る必要があるときも出てくると思います。

今回は叱るときポイントについてまとめてみました。

まず、叱るときに飼い主さんがしてしまいがちな間違った行動です。

- ・現行犯でなくあとから叱ってしまう
- ・感情的に怒鳴りながら叱る
- ・長くクドクドと叱り続ける
- ・感情にまかせて体罰をしてしまう

これは犬がしつけを覚えられないばかりか、トラウマになることもあります。

叱るときの基本は

- ・**現行犯**ですぐ叱るそうでなければ見逃す。
- ・一言低い声で『イケナイ!』と叱るだけにする。
怒っている雰囲気や伝わるのが大事
- ・感情的になると犬も不安になるので**冷静**に叱る。
- ・**体罰**はトラウマになり、人嫌いになる可能性があるため**絶対にしない**。

という事を覚えておきましょう。

